

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

公表日: 令和6年 2月 1日

事業所名: どんぐりひろば

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	<ul style="list-style-type: none"> ・設定基準は満たしているが、活動スペースとしては狭い。 ・広いスペースが必要な活動をする際には、法人内の広いスペースの部屋に移動し、活動している。 	はい50% どちらともいえない20% いいえ30% ・もう少し部屋が広い方が良い。 ・部屋が狭い。	<ul style="list-style-type: none"> ・法令を遵守したスペースを満たすことができているが、増築を検討する。 ・部屋のレイアウトを考え広く見せる工夫をする。
	2 職員の適切な配置	<ul style="list-style-type: none"> ・基準の配置人員を満たしており、加配職員も配置している。 ・外出プログラムの際には職員を多めに対応している。 	はい95% わからない5%	<ul style="list-style-type: none"> ・活動内容や利用児の様子に応じた職員配置を行う。 ・外出プログラムを実施する場合は引き続き職員を多めに対応する。 ・ボランティアの積極的な勧誘を行う。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	<ul style="list-style-type: none"> ・部屋には段差はなく、玄関にはスロープ、手すりも設置し、全面バリアフリーになっている。 ・手洗いをする際に水道の蛇口に手が届かない利用児に対しては、踏み台を用意し、手が届くようにしている。 	はい80% どちらともいえない10% いいえ5% わからない5%	<ul style="list-style-type: none"> ・小学生低学年の利用児が増えているので、小さめの椅子、机を揃える。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・通所前又は活動終りには必ず清掃を行い、清潔な環境を保てるように心掛けている。 ・利用児が安心して過ごせるように環境の安全面にも気を付けている。 ・感染症対策として定期的に消毒もしている。 	はい90% どちらともいえない10% ・部屋が狭い。	<ul style="list-style-type: none"> ・掃除は必ず毎日行い、清潔感を維持する。 ・書類や物品が増えているので、倉庫の購入を検討する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	<ul style="list-style-type: none"> ・朝の職員会議を通して、諸注意事項や支援方法について意見交換をしている。 ・非常勤職員には口頭でも説明を行うとともに、連絡ノートも活用している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・業務改善に対する振り返り・意見交換をすると共に、日頃から職員間で相談しやすい職場環境を心掛ける。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・第三者評価は受審している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・H26年に第三者評価を受審しているが、次年度に受審の検討する。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・外部研修、内部研修を受講している。 ・研修の内容は、報告書を作成し、記録に残している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・常勤、非常勤職員ともに積極的に研修の受講を行うようにする。 ・オンライン研修を活用し、様々な研修を受講できるようにする。
適切な支援の提供	1 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児のサービス等利用計画に基づいて、最低年に2回(前期、後期)6ヶ月ごとに個別支援計画の作成を行っている。 ・個別支援計画の作成にあたっては、モニタリング、アセスメント(ニーズの把握)、作成会議をサイクルにして作成している。 	はい100% ・子どもの事をよく理解し、安心安全で過ごせるようにしている。 ・保護者の気持ちや希望も大切に考えてくれている。	<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメント表の内容を見直し、より多くのニーズを把握できるようにする。 ・アセスメント表は書き込みだけで終わるのではなく、聞き取りも交えて詳しい情報を拾い上げるようにする。
	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせ合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	<ul style="list-style-type: none"> ・個別支援計画の支援内容欄に「個別支援」「集団支援」「留意事項」の3つの観点から支援方法を記載している。 ・状況に応じて「家族支援」の観点も取り入れている。 	はい95% どちらともいえない5%	<ul style="list-style-type: none"> ・姫路市障害福祉課から提案された個別支援計画の様式を基に、当事業所に必要とされる内容へと変更し、作成を行う。 ※個別支援、集団支援、家族支援の観点は必ず落とし込むようにする。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児のニーズを把握し、必要な支援を一人一人設定し、支援内容を記載している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なニーズを把握し、スモールステップの観点から必要な支援方法を記載できるようにする。
適切な支援の提供	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ニーズや課題点を分析し、モニタリングや支援計画会議を通して、一人一人に合った支援を実施している。 	はい100%	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も利用児の保護者のニーズを把握し、必要な目標や支援方法を記載できるようにする。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	<ul style="list-style-type: none"> ・利用児の興味関心のある活動を考え、プログラム計画会議で話し合い、立案している。 ・外出や季節行事などの活動にも積極的に取り組めるようにしている。 		<ul style="list-style-type: none"> ・マンネリ化にならないように新しいことに挑戦できるように活動を考えている。 ・子ども達や保護者の要望も取り入れる機会を作り、プログラムに反映できるようにする。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	<ul style="list-style-type: none"> 様々な活動を通して①「社会性の習得」②「生活に必要なスキルの習得」③「余暇活動の充実を図る」ことを目標にしている。 平日: 曜日ごとでプログラムを固定し、継続支援としてサービスの提供を行っている。曜日ごとのプログラムでは新しいことも取り入れ、楽しんで活動に取り組めるようにしている。 活動の目的は、「繰り返し活動を行う中で、習得できることを増やせるようにすること」。 休日: 外出活動や季節行事、工作、調理等、様々な活動に取り組めるようにしている。 	はい95% どちらともいえない5% ・休日は様々なことに取り組んで工夫されている。 ・平日はクラブ活動で発表会に向けて頑張ることができている。	<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムをするにあたって、一人一人に合った活動内容を考え、取り組めるようにする。 ・平日のクラブ活動では、年度末に開催する発表会を意識した活動内容を継続していく。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・曜日ごとのプログラムで固定となっているが、創作の内容を変え、新しい課題に挑戦している。 		<ul style="list-style-type: none"> ・プログラムがマンネリ化にならないように工夫しながらプログラムを考えるようにする。 ・他事業所と合同で行うプログラムを増やし、交流の機会を設けるようにする。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
続き	8	支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	・支援の開始前にミーティングを行い、その日の支援内容や役割分担、連絡事項について話の場を設けている。	・継続して実施する。	
	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	・支援終了後の記録を記入する際、活動内容の振り返りを行い、情報共有、検討会を実施している。	・継続して実施する。	
	10	日々の支援に関する正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	・利用児の記録は、個別ファイルに記録し、児童発達支援管理責任者が確認をしている。 ・支援の振り返りをしていく中で、支援の検証や課題があれば、ケース会議の実施をする。	・継続して実施する。	
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	・半年ごとに個別支援計画について振り返りを行い、まだ達成できていない目標については支援内容の検討を行っている。	・継続して実施する。	
関係機関との連携	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	・相談支援事業所の提案に応じながら、利用児の関係機関を含めたサービス担当者会議に出席している。 児童発達支援管理責任者が参加する機会が多いが、必要に応じてケース担当者も同席している。	・継続して実施する。	
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施	・現在の契約者の中に該当利用児はいない。		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備	・現在の契約者の中に該当利用児はいない。		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	・支援担当者会議を通して、利用児に関わる関係機関と情報の共有をしている。	・継続して実施する。	
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	・特別支援学校を卒業する利用者の移行先である就労継続支援事業所や地域生活支援事業所に当事業所での様子について引継ぎシートにまとめ、提供している。	・就労継続支援事業所や地域生活支援事業所と連携をさらに深めていけるようにする。	
	6	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	・兵庫県や姫路市主催の研修会には可能な限り参加している。	・オンライン研修の開催も増えつつあるので、必要に応じて受講できるようにする。	
	7	児等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合は放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	・法人内で実施している地域交流の児童クラブ(チャレンジクラブ)で行われるイベントを紹介している。	はい15% どちらともいえない15% いいえ15% わからない55% ・活動に満足できているので必要だとは思っていません。	・休日や長期休暇のプログラムをする際に、地域の子も達と交流の機会を持てる行事への参加をしていく。 ・利用児の制作した作品を地域の公民館に展示させてもらう機会を作る。
	8	事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	・法人内で開催しているあひむフェスタの行事に参加していたが、ここ数年はコロナ感染症の影響により開催ができていない。 ※開催となれば参加していく。 ・法人内にある就労継続支援事業所で栽培している花の苗を宣伝し、注文の受け口先となった。		・コロナ感染症の規制緩和に伴い、地域で開催されるイベントへの参加を検討する。
保護者へ	1	支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	・利用開始前の契約時に重要事項契約書を用いて説明を行っている。	はい100%	・不明点が無いように丁寧な説明を心掛けるようにする。 ・利用者負担額の説明を文面化し、より理解しやすい形式にする。
	2	児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	・作成した個別支援計画を口頭で説明し、保護者の承諾を得て、署名と捺印をもらっている。	はい95% わからない5%	・継続して実施する。
	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	・現在、ペアレント・トレーニングの実施は行っていない。	はい30% どちらともいえない20% いいえ5% わかづらい45% ・話も聞いてくれて、寄り添ってくれながらアドバイスをしてくれています。	・保護者に研修等の情報を提供できるようにする。 ・ペアレント・トレーニングに関する研修を受講し、ペアレント・トレーニングを実施する。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	・利用児の様子、支援の内容については連絡ノートの活用や送迎時に情報の共有を行っている。	はい80% どちらともいえない15% いいえ5% ・もう少し時間を取って話を聞きたいときがある。	・継続して実施する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
の 説明 責 ・ 連 携 支 援	5 保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	・保護者との信頼関係を築き、悩みを受け止めるようにしている。 ・相談に対する解決策を一緒に考え、適切な助言を心掛けるようにしている。	はい70% どちらともいえない15% いいえ5% わからない10% ・必要に応じて行っている。 ・面談という形ではないが、困った時には相談をすることができているので面談はなくても良い。	・現状を維持しながら満足度を高められるようにする。
	6 父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	・保護者と職員でBBQによる交流会の実施をしている。	はい20% どちらともいえない35% いいえ10% わからない35% ・親子参加のプログラムをたまにはやってみてほしい。	・親子参加のプログラムを年に数回設け、保護者同士の交流を図る。
	7 子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	・苦情があった場合は、管理者に報告し、管理者から対象の保護者への対応を行っている。 ・苦情、ご意見に関する報告を一覧として、玄関口に開示し、保護者に周知できるようにしている。	はい75% どちらともいえない10% わからない15%	・継続して実施する。
	8 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	・口頭だけでは説明が伝わりにくい場合、必要に応じて書面に書いて情報を提供するなどの配慮を行っている。	はい90% どちらともいえない5% わからない5%	・それぞれの特性に配慮した丁寧な対応を続けていくようにする。
	9 定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	・毎月、通信紙を発行し、活動内容や行事予定、連絡事項等を記載し、配布している。	はい95% わからない5%	・継続して実施する。
	10 個人情報の取扱いに対する十分な対応	・個人情報保護規定を策定し、職員や実習生及びボランティアには、個人情報保護に係る誓約書へ同意を得ている。	はい100%	・引き続き、保護者の方が安心して利用できるように、個人情報の取り扱いには、気を付けていく。
非 常 時 等 の 対 応	1 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	・各種マニュアルを策定している。 ・災害時の避難場所については個別支援計画に記載し、保護者にも周知できるようにしている。	はい80% わからない20%	・玄関口の目の届く位置にマニュアルとハザードマップを提示し、周知できるようにする。
	2 非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	・様々な災害を想定し、避難訓練を年に数回、実施している。 ・災害時に備えて保存食を備蓄している。	はい65% どちらともいえない5% わからない30%	・継続して実施していき、通信やHPを通して、活動の様子を周知できるようにする。
	3 虐待を防止するための職員研修機会の確保等の適切な対応	・虐待対応マニュアルの作成をしている。 ・年に1回職員に対して、自己チェックを実施している。 ・障害者虐待防止に関する内部研修の実施や外部研修への参加もしている。		・継続して実施する。
	4 やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	・契約書の第4条(サービスの内容)の2に身体抑制を行わないと明記している。 ・身体拘束適正化委員会を法人内に第三者委員として設置している。		・継続して実施する。
	5 食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	・利用児の利用前にアレルギーの有無について聞き取りを行い、情報の共有を行っている。 ・食物アレルギーのある利用児に対しては職員全員が把握しやすいようにする為、お菓子箱を他児とは別にして、食物アレルギーに対する意識を持てるようにしている。 ・食事支援マニュアルの中に「食物アレルギー」の項目を入れている。		・継続して実施する。
	6 ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	・ヒヤリハットとされる事案が発生した場合、報告書の作成を行い職員全体に周知できるようにしている。 ・マニュアルの作成をしている。		・継続して実施する。